

## ◆アフターサービス

アフターサービスを依頼する前に、10ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」を見てもう一度確認してください。確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明の場合は、ご自分

で修理なさらず、お買い求めになった販売店又は当社「お客様係」☎0120-75-5000までご相談ください。

### SOTO MUKAストーブ SOD-371 保証書

この製品は万全を期していますが正しい使用にもかかわらず万一故障した場合は本保証書にお買上げ年月日、販売店名、ご芳名、ご住所、お電話番号および症状をお書き添えの上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

製品名・型式	SOTO MUKAストーブ SOD-371	ご芳名
保証期間	お買上げ日より1年間	ご住所
お買上げ日	平成 年 月 日	お電話 ( )

取扱販売店・住所・電話番号	症状
---------------	----

**SOTO** Sparked by nature 新富士バーナー株式会社

#### 保証規定

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

- 保証期間内に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った正常なる使用状態において、万一故障した場合には、無料で修理いたします。
- 修理依頼時には、つぎの事項にご注意ください。
  - 必ず商品と本保証書をご提示ください。
  - 保証期間を過ぎた修理依頼も商品と本保証書をご提示ください。
  - 商品と本保証書の提示のない場合は、修理をお断りすることがあります。
  - ご贈答品等で本保証書にお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、当社「お客様係」☎0120-75-5000までご連絡ください。
- 保証期間内でも、つぎの場合は有料修理になります。

- 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - お買上げ後の落下、移動、輸送等による故障及び損傷。
  - 火災、地震、水害、落雷、塩害、弊社指定以外の燃料使用によるもの、その他、天災地変、公害による故障及び損傷。
  - 保証書の提示がない場合。
  - 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
  - 本保証書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

製造発売元

**新富士バーナー株式会社**

〒441-0314

愛知県豊川市御津町御幸浜1号地1-3

TEL0533-75-5000(代) FAX0533-75-5033

http://www.shin Fuji.co.jp/

E-mail:info@shin Fuji.co.jp

日本製

**SOTO**  
Sparked by nature

**SOTO**  
Sparked by nature

M U K A  
**STOVE**  
S O D - 3 7 1 特許出願中

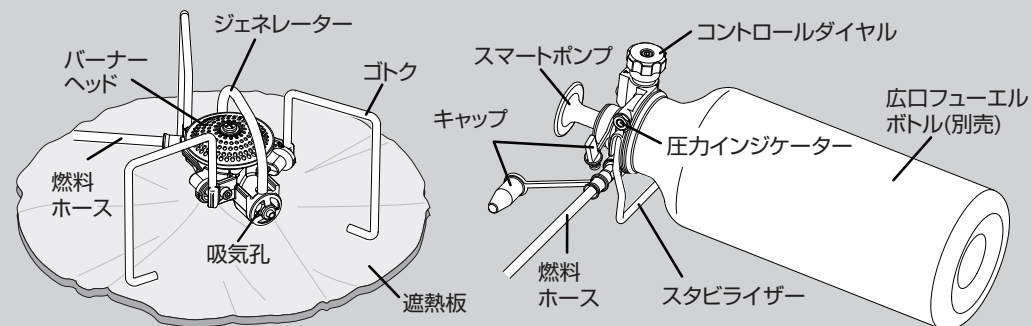
**MUKAストーブ**  
**取扱説明書**  
(生産物賠償責任保険付・保証書付)

#### 目次

特に注意していただきたいこと	1~2
使用方法	3~7
メンテナンス	8
組立図、付属品、別売品	9
使用燃料、故障・異常の見分け方と処理方法	10
アフターサービス	11

このたびは SOTO MUKAストーブSOD-371をお買上げいただき誠にありがとうございました。本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき大切に保管してください。

#### ■各部の名称



#### ■仕様

外形寸法／幅135×奥行135×高さ80mm(使用時・本体のみ)

幅80×奥行65×80mm(収納時・本体のみ)

重量／327g(本体+ホース:163g、ポンプ:164g)

発熱量※1／4.7kW(4,000kcal/h)

使用燃料／自動車用レギュラーガソリン、ホワイトガソリン

使用時間※2／4,000kcal/hで約1時間(自動車用レギュラーガソリン480ml使用)

2,500kcal/hで約1.5時間(自動車用レギュラーガソリン480ml使用)

※1 気温25℃無風状態で点火後から5分間の燃焼データより算出

※2 気温25℃無風状態で点火後30分間の燃焼データより算出。

※仕様は予告なく変更する場合があります。

屋外専用

## ◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある ⊘ マークは禁止を表します。

### ⚠ 警告 ( 取扱いを誤った場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。 )

- 屋外専用です。一酸化炭素中毒死や酸欠による窒息死のおそれがありますので、テントの中や車の中では絶対に使用しないでください。屋外でも換気の不十分な場所では絶対に使用しないでください。



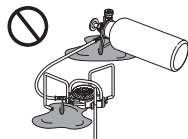
- こんろと一緒にフューエルボトルを岩やブロック、板などで周囲を囲んで使用しないでください。また、たき火など、他の熱源の近くでは絶対に使用しないでください。燃料が加熱されると爆発する可能性があります。燃料に危険です。



- 燃料はホワイトガソリン、または自動車用レギュラーガソリンを使用してください。ハイオクガソリンは使用しないでください。ハイオクガソリンはオクタン価を向上させるための添加物が入っているため、ノズル詰まり等の原因になります。

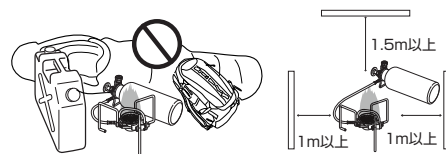
- 火気のあるところや、喫煙しながらの給油作業は非常に危険です。引火してやけどをする危険があります。

- 点火する前に必ず燃料が漏れていないか確認してください。もし燃料漏れがあった場合は絶対に点火しないでください。また、使用中に燃料漏れがないことを確認してください。火災の原因になります。ご使用時には燃焼状態および燃料漏れを常に確認する習慣をつけてください。

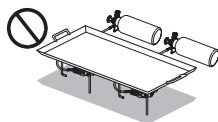


- MUKAストーブは非常に火力が強くて低重心のため設置面に熱がかかります。熱により変形、変色する可能性のある場所に設置して使用しないでください。

- こんろの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火元から側面は1m以上、上部は1.5m以上離してください。



- こんろを2台以上並べて使用しないでください。燃料ホースやこんろ、フューエルボトルが加熱され非常に危険です。



- 点火時にはこんろの真上に顔や体などを絶対に近づけないでください。着火と同時に大きな炎が立ち上がるため、やけどの危険があります。

- 雪の上でこんろを使用する場合、こんろの下の雪が解けてこんろが傾き、調理中の鍋等が落下することがありますので注意してください。

- 火をつけたまま、本製品から離れないでください。

- 燃焼中にこんろを持ち運んだり、動かしたりしないでください。大きな炎が立ち上がり危険です。

- こんろが完全に冷えるまで、絶対に触らないでください。使用直後は非常に高温になっており、やけどの危険があります。



## ◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある ⊘ マークは禁止を表します。

### ⚠ 警告 ( 取扱いを誤った場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。 )

- 子供に使用させないでください。また、こんろ周辺では子供やペットから目を離さないでください。

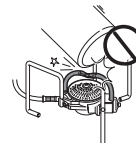


- 湯わかし、調理以外には使用しないでください。

- 使用できる鍋は、直径21cmまで、内容量を含めた重量は4.5kgまでが目安です。



- ジェネレーターは、予熱不要にするために非常に精密な設計が施された部品です。物を突き当てたり落としたりして変形した場合は交換が必要になりますので、丁寧に扱ってください。



- 燃料を保管する際は、キャップをしっかりと締めて涼しい所に保管してください。直射日光の下や車の中等、高温になる所に燃料を放置しないでください。フューエルボトルが爆発する危険があります。



- 燃料ホースの先端、及び燃料ホース接続部には砂等がつかないように注意してください。砂が付いたまま使用したり、傷がついたりすると燃料漏れの原因となります。

- 燃料ホースが90度以上、曲がるような扱いはしないでください。燃料漏れの原因となります。



- 燃料ボトルは必ずSOTO専用の広口フューエルボトルをご使用ください。また、SOTO広口フューエルボトルに記載されている「使用上の注意」をよく読んで使用してください。



- フューエルボトルを収納する時、また移動する際は、必ず専用のボトルキャップを取り付けて、フューエルボトルの口の部分を保護してください。

- フューエルボトルを開けた際、スマートポンプのOリング、またボトルキャップのOリングが内圧により、ボトルの口からはみ出すことがあります。その際は、Oリングを正しい位置に戻して作業を継続してください。

- 長期間使用しない場合は、フューエルボトルからポンプを取り出して、ボトルキャップをしっかりと締めて保管してください。

- 気温がマイナス20℃以下の場合、Oリングが硬くなり、一時的に弾性を失い、燃料漏れの原因となる可能性があります。気温がマイナス20℃以下になる場所では使用しないでください。

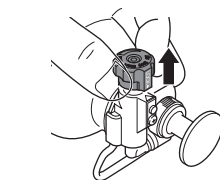
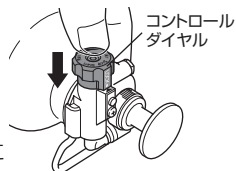
## ◆使用方法(コントロールダイヤル、ゴトク、給油)

### ■コントロールダイヤルの使用方法

#### ◆“ロック”の位置:

コントロールダイヤルを押し込むとロックされた状態になります。使用しないときはロックの状態にしてください。

※ロックされた状態でもコントロールダイヤルを回すことはできますが、作動はしません。これにより誤操作を防止します。



#### ◆“ロック解除”の位置:

使用するときにはコントロールダイヤルを引き上げてロックを解除します。

「Stop」「Start」「Run」「Air」の4つの操作をすることができます。

#### ◆緊急停止(燃料とAIR、両方の供給を停止):

燃焼中でも、コントロールダイヤルを押し込みロックの状態にすることで緊急停止させることができます。(コントロールダイヤルがどの位置であっても停止します。)

※ホースなどの燃料通路には若干の燃料が残っているため、これが燃え尽き消火するまでには多少の時間を要します。



通常、消火する際は「Air」に切り替えて消火をしてください。「Air」に切り替えることで燃料ボトル内の圧力を抜きながら、燃料通路をクリーニングします。これによりジェネレーターユニットの交換時期を遅らせることができます。

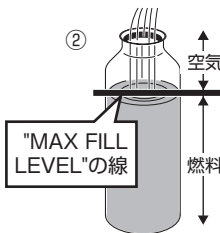
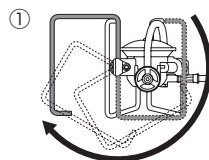
### ■ゴトクのセッティング、給油

①3本のゴトクを図のように回転させセッットします。

②“MAX FILL LEVEL”の線を越えないように給油します。

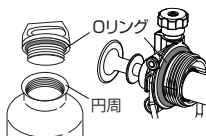
※“MAX FILL LEVEL”の線を越えないように給油してください。“MAX FILL LEVEL”より上は、圧力を入れるための空気室として確保しておく必要があります。空気室の確保が不十分な場合、スタートに失敗する可能性があります。

※火気のあるところでは給油作業をしないでください。



③スマートポンプをセッットします。まだ燃料ホースは接続しないようにしてください。

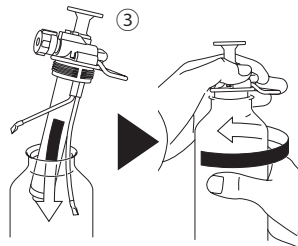
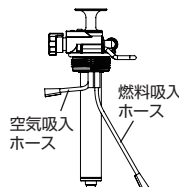
※使用前には、必ずフューエルボトルの口やポンプのOリングにゴミが付着していないか、キズがついていないか、また、フューエルボトルの口が歪んでいないかを確認してください。ゴミが付着している場合は取り除き、キズ、歪みがある場合は使用せず、新しいものに取り替えてください。



※スマートポンプの空気吸入ホース、及び燃料吸入ホースを傷つけないよう注意してください。

※空気吸入ホースと燃料吸入ホースが正しい向き(右図参照)になっているか確認してください。

※スマートポンプ取り付けの際、逆止弁ノズル(組立図25)が緩んでいないか、確認してください。緩んでいる場合は、マルチツールを使って締めてください。



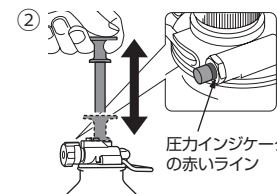
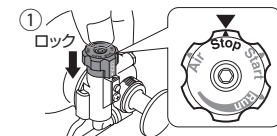
## ◆使用方法(ポンピング)

### ■ポンピング

①コントロールダイヤルがロックされていることを確認し、「Stop」の位置(カチッと音のするところ)に合わせます。

②フルストロークでポンピングします。燃料を“MAX FILL LEVEL”まで給油した場合、圧力インジケータの赤いラインが見えるまでポンピングします。

給油量が少ない場合に限り、赤いラインが見えるまでポンピングしなくても、安全にスタートさせることができます。この場合は、下記の表を目安にポンピングしてください。これによりスタート時のポンピング回数を減らすことができ、また赤い大きな炎(生火)の発生も抑えることができます。



赤いラインが見えた後ポンピングを続けても、圧力インジケータがさらに出てくることはありません。ポンピングを続けると、フューエルボトル内の圧力が上がり過ぎ、スタート時に赤い大きな炎(生火)が立ち上ることがあります。

	給油量(ml)	ポンピング回数(回)	インジケータの赤いライン	点火時に上がる炎の大きさ
SOTO 広口フューエルボトル 700ml	480(満タン時)	70	見える	大きめ
	240	80	見えない	やや大きめ
	120	80	見えない	小さめ
	60	80	見えない	小さめ
	30	80	見えない	小さめ
SOTO 広口フューエルボトル 1000ml	700(満タン時)	90	見える	大きめ
	350	100	見えない	やや大きめ
	175	150	見えない	小さめ
	90	150	見えない	小さめ
	45	150	見えない	小さめ



**警告**

圧力インジケータは、過剰な加圧を防止するための目安とするものです。フューエルボトルの内圧を測定するような機能は備っていません。そのため圧力インジケータは、内圧に応じて稼働する圧力計と同じような稼働はしません。



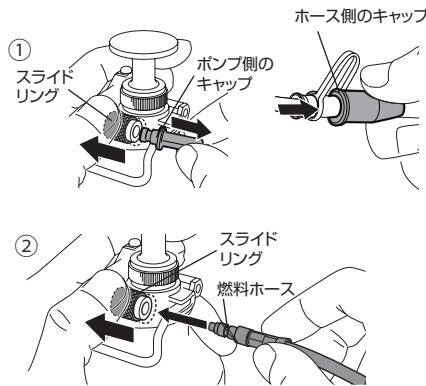
**注意**

低温下で使用した場合、ピストンパッキン(組立図16)が硬化しフューエルボトルに圧力が入らない状態になることがあります。その際はシリンダーキャップを外してピストンを取り出し、ピストンパッキンを体温等で温めることで再度圧力を入れることが可能になります。

## ◆使用方法(ホースの接続、点火)

### ■ポンプとホースの接続

- ①スライドリングをスライドさせながら、ポンプ側のキャップを外します。ホース側のキャップも外してください。
- ②スライドリングをスライドさせながら、ポンプと燃料ホースを接続します。ポンプとホースがしっかり接続されているか確認してください。



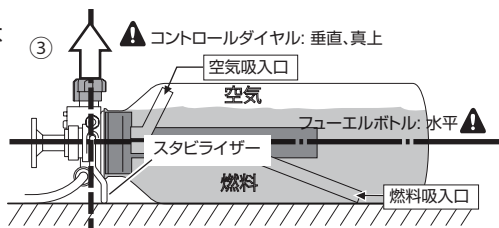
#### 警告

キャップやポンプおよびホースの接続部に砂などが入り込まないように注意してください。砂などが付いた状態で接続すると燃料漏れの原因になります。ポンプとホースの接続部に雪等の水分が付いて凍ると燃料通路がふさがれ、燃料が出なくなります。氷点下では雪等の水分が付かないよう、ご注意ください。もし燃料通路が凍結した場合、体温で温める等して氷を解かし、燃料通路を確保してください。

- ③スタビライザーを下にして、フューエルボトルを水平な所に横にします。

#### 警告

フューエルボトルは必ず水平に横にしてください。その時、必ずスタビライザーが真下、コントロールダイヤルが常に垂直で真上を向いているようにしてください。



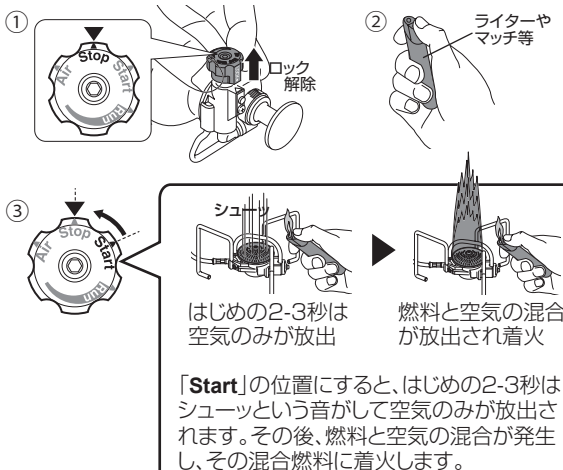
### ■点火

**警告** MUKAストーブは非常に火力が強く、低重心のため設置面に熱がかかります。特に熱により変形、変色する可能性のある場所では使用しないでください。

- ①コントロールダイヤルが「Stop」の位置にあることを確認してから、ロックを解除します。
- ②すぐに点火できるように、ライターやマッチ等を手元に用意します。
- ③コントロールダイヤルを「Start」の位置に切り替え、点火します。点火と同時に勢よく赤っぽい炎が上がります。

#### 警告

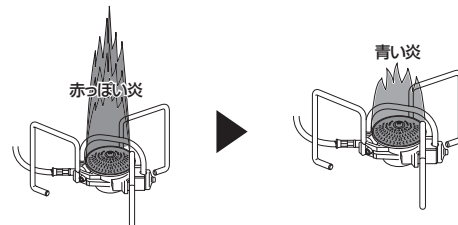
点火時には絶対に顔や体などをこるに近づけないでください。「Start」に切り替えた後、点火しないままでいると燃料がバーナーユニット内にたまり、スタートに失敗します。また、たまった燃料に点火した場合、赤く大きな炎(生火)が立ち上がり危険です。



## ◆使用方法(炎の安定、風防)

### ■炎の安定

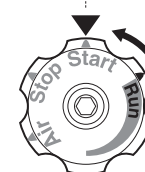
- ①赤っぽい炎が青く変化したら、コントロールダイヤルを「Run」に切り替えます。目安として約10秒で青い炎に変わります。(気温25℃、無風状態時)



#### 注意

「Run」への切り替えが早いと、バーナーユニットとバーナーユニットリングのすき間から炎が出るがありますが20秒ほどで消火します。

目安として約10秒で青い炎に変わります。温度が低い時や風のある時は、もう少し時間がかかります。



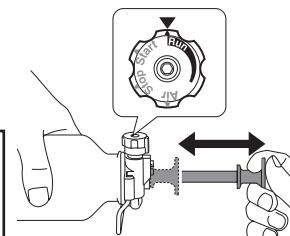
#### 警告

- 「Run」への切り替えが早すぎた場合、赤い大きな炎(生火)が出続けます。その際は「Start」位置へ戻し、ジェネレーターが温まるのを待ってから、再度「Run」へ切り替えてください。
- 忘れずに「Run」へ切り替えてください。「Start」の位置では燃料と空気が同時に噴出します。そのため、「Run」への切り替えを忘れてしまうとフューエルボトルの内圧がどんどん下がり、火力が上がらず調理ができません。

- ②連続燃焼を維持するために、再度ポンピングして適当な圧力をかけます。圧力インジケータの赤いラインが見えたらポンピングを終了します。点火と同時に、最初に入れた圧力のほぼすべてを使い切ります。「Run」に切り替えた後、必ず適当な圧力までポンピングしてください。

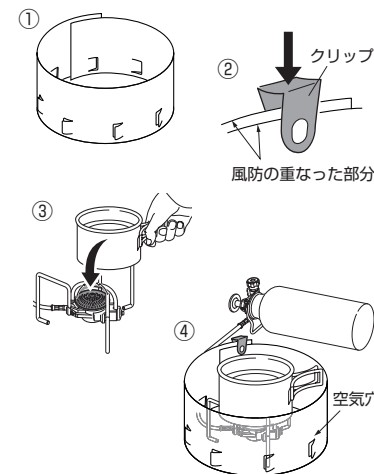
#### 警告

圧力インジケータの赤いラインが見えたらポンピングを終了してください。これ以上にポンピングを続けると、赤い大きな炎(生火)が立ち上がる可能性があり、やけどや火災の危険があります。



### ■風防を取り付ける ※風防の端で、指や手などを切らないよう注意してください。

- ①風防を右図①のように円筒状にします。風防を設置する際は、鍋等と風防の間は必ず、2.5cm以上すき間を確保してください。すき間が狭すぎると、風防内が酸欠のため赤い炎が立ち上がったり、風防が溶けるおそれがあります。
- ②風防の端の重なった部分を付属のクリップで止めます。
- ③鍋をこるのにのせます。
- ④風防を右図④のように空気穴が下にくるように設置します。



#### 警告

風防を設置した後は、風防に触れないでください。非常に高温になるため、やけどの危険があります。フューエルボトルを風防で囲わないでください。燃料が加熱されて爆発する可能性があり、非常に危険です。

※使用後風防を収納する際は、丸めて収納してください。折り畳んで収納すると、空気穴がうまく開かなくなります。

